

耕作放棄地解消して ジャガイモ掘体験

6月3日(金)和水町津田地区で、神尾保育園児27名を招待してジャガイモ掘体験が行われました。
招待したのは池田善幸さん(中和仁)で、国の補助事業(耕作放棄地再生利用緊急対策)を活用され、65aの畑地を解消されました。

解消前は、かねカズラや雑木が生い茂っており、すぐ耕作できる状態ではなかったが、バックホーなどの重機で再生作業を行い、2〜3ヵ月ほどで立派なジャガイモ畑になりました。この日は園児も初めてのジャガイモ掘体験という事で、顔ほどの大きなジャガイモに歓声をあげ、泥だらけになりながら楽しんでいました。



解消前



解消後



耕作放棄地とは、1年以上耕作されずに荒廃した農地のことです。放棄するとさらに荒廃が進行し、耕作地としての活用が困難になるだけでなく、周辺にも悪影響を及ぼすので、一刻も早く解消していくことが重要です。

耕作放棄地解消に取り組むと交付金が出ます!!

詳しくは、和水町役場・経済課／農業委員会(0968・86・5725)、
総合支所・事業課(0968・34・3111)、
玉名地域振興局・農業普及・振興課(0968・74・2136)まで

※注意：補助事業を活用される場合は、事前に写真が必要になります。まずはご相談下さい。



福岡市の中心街で、観光PR ～みかわ手漉き和紙～

4月28日(木)と5月13日(金)、福岡市の天神中心街で、「みかわ手漉き和紙」の紙漉き体験や特産品の販売をし、和水町の観光PRを行いました。

和水町には、福岡県から多くの観光客が訪れています。また、今年3月には、九州新幹線が全線開業し、さらに福岡県から観光客の増加が見込まれます。

そこで、和水町の観光資源を魅力化してイメージアップを図るとともに、和水町の知名度を向上させるため、今年度、福岡地域や関西地域などで、このような体験型の観光PRを行っています。

観光PRでは、ビジネスマンや買物客の人が、珍しそうに和紙の手漉きを体験されました。また、新鮮な野菜などを喜んで買って行かれました。ほとんどの人が、「和水町はどこにあるのですか?」と尋ねられ、和水町の場所を教えると「福岡から近いですね、今度、遊びに行きます」と笑顔で、答えられていました。

なお、本事業は、熊本県緊急雇用創出基金事業を活用し、町で新たに2名を雇用して、手漉き和紙体験を中心に、体験型の観光PRを行っているものです。



～ 緊急人材育成支援事業 ～

「ホームヘルパー2級養成科」 訓練生募集のお知らせ

この職業訓練を受講する非雇用保険受給者のうち、年収・資産などの一定要件を満たす主たる生計者に対して、訓練期間中の生活保障を行う「訓練生活支援給付金」を給付します。

給付額…単身者→月額10万円 被扶養者を有する者→月額12万円

- 受講期間：平成23年8月8日～平成24年2月3日(土・日・祝日除く)
午前9時00分～午後4時10分
- 開催場所：学校法人松本学園 キャリア支援センター(問い合わせ・申し込み先も同じ)
熊本県玉名市中48-4(0968・72・2375)
- 定員：24名(応募多数の場合、選考により受講者を決定)
- 対象：全日程出席できる方
- 参加費：無料(但し、教科書等実費 計19,440円程度 自己負担)
- 内容：◆ホームヘルパー2級
◆福祉住環境コーディネーター基礎
◆介護事務基礎
◆パソコン(ワード・エクセル3級)
- 申込期限：平成23年7月25日(月)

問い合わせ・申し込み先
松本学園キャリア支援センター ☎0968・72・2375
ハローワーク玉名 ☎0968・72・8609